



かぐやパンダ通信
〜右手の笹は…?〜

かぐやパンダが右手に持つ笹。時々、「非常食じゃろ？」なんて言われることがありますが、実は「商売繁盛の縁起物」の笹です。

今月号の特集は「障害者の就労」がテーマ。かぐやパンダグッズも紹介されています。かぐやパンダが持つ笹には、障害者のみなさんが提供するサービス・商品が、多くの人にお求めいただけますように…という、願いが込められているのです。

人のうごき

(住民基本台帳登録者数)

人口	28,758人
男	13,645人
女	15,113人
	12,909世帯
1年前	28,827人
5年前	30,482人
- 1月1日現在 -	



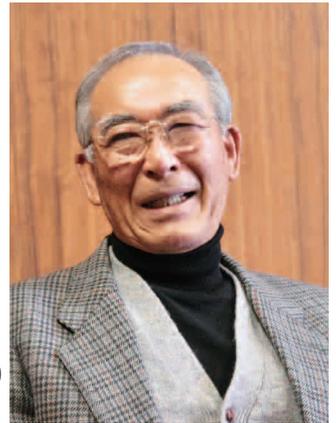
ティータイム

1月から、市役所地下1階の夜間窓口玄関前にも、「広報たけはら」を備え置きました。1人でも多くのみなさんに読んでもらえる嬉しいです。みなさん、いつでも取りに来てくださいね♪ (と)



正岡 傑さん (81)

塩町在住。竹原高等学校の教師、介護福祉施設の施設長を引退後、見守り活動を始めて、現在8年目。



沖本 巧さん (76)

忠海町在住。忠海第3地区協働のまちづくりネットワークの防犯部会長。見守り活動を始めて、現在3年目。

見守りボランティア
子ども達の安全のために

「地域の子どもの安全を守るため、普段、こういった活動をしているのですか。」
沖本 週に1度、あいさつ運動を兼ねて、子ども達の下校時に見守り活動を行っています。町内のパトロールもしています。
正岡 ももとは、下校時の見守り活動ですが、今は交通安全にも力をいれています。雨の日も風の日も、下校時には、毎日出ています。
 「今や、生活の一部となっているのでは？」
正岡 一部でなく、大部分ですよ。習慣ですね。
沖本 毎日はずいずいですよ。なかなかできないことですよ。
正岡 子ども達が、目を輝かせながら、「正岡さん、ただいま」と言ってくれます。それが嬉しくて、続けられます。
沖本 私の地域は交通量が多い



ので、子ども達にとって非常に危険です。だから、横断歩道などは早く渡るよう促すんですよ。それでも、遠くから大きな声で「ただいまー！」と言ってくれる子どもいますね。
正岡 そうそう。小学生のときに見ていた子どもが、「見守りのおじちゃんですよ」と、高校生になって声をかけてくれることもあるんですよ。それが嬉しいです。
 「活動を続けてこれ、自身に変化はありますか。」
正岡 顔を見て話すこと、挨拶をすることは、非常に大事なことだと、以前よりも感じるようになった。
沖本 わかりました。私は、市外に勤めていたので、昔はめったに近所の人に出会いませんでしたが、見守り活動を始めて、たくさんの人と出会うようになりました。子どもだけでなく、大人とも挨拶するようになりましたよ。
正岡 近所の人から声をかけてもらえるようになり、周りの人に認めてもらえていると思うと、やりがいがあり、これからは頑張ります。
 「最後に、子ども達や地域のみなさんに伝えたいことは？」
正岡 自分から挨拶できる、明るく元気な子になってもらいたい。声をかけてくれたら励みになります。
沖本 そうですね。元氣と笑顔。私も、これが一番大事だと思います。